

山と水と桜の画家

日本風景画の巨匠

吉田博展

Hiroshi Yoshida

2018 9.29_土 - 11.25_日

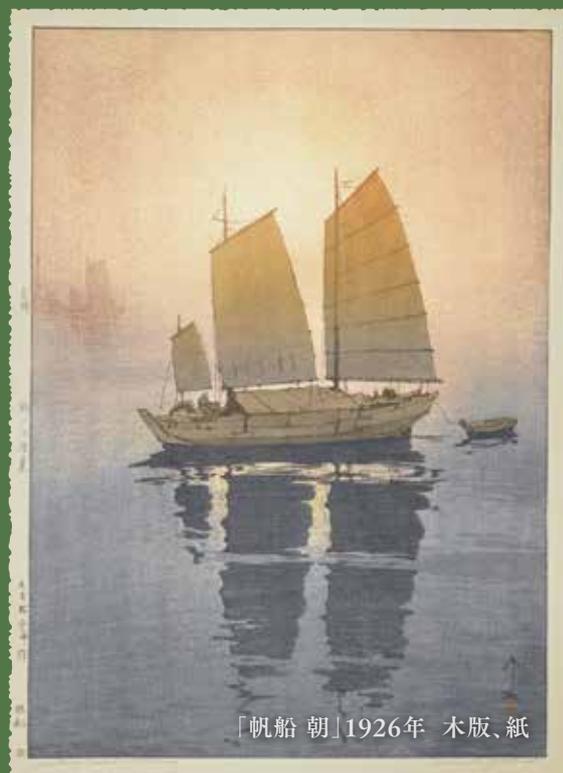
【同時展示】吉田博と吉田興文

- 開館時間 9:00 - 17:00 (最終入場 16:30)
- 休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は開館)
- 料金 一般: 150 円 (100 円)
高大生: 100 円 (60 円)
中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
※各種障害者手帳提示で付添1名まで無料
- 協力 吉田興文

 狭山市立博物館
<http://sayama-city-museum.com>



◀ 狭山市立博物館ホームページ



「帆船朝」1926年 木版、紙

日本風景画の巨匠 吉田博展

～山と水と桜の画家～



明治から昭和にかけて活躍した吉田博の木版画25点、水彩画1点、未発表作品を含む油彩画9点を展示いたします。サブタイトルにある“山”とは、高山を愛し、登山家としても一流の山岳画家であったことを表します。“水”とは、その描写力について「水を描かせたら右に出る者はいない」と評されるほど表現が卓越していたことを表します。そして最後の“桜”とは、若き頃海外修行の途上で手にしたアメリカンドリーム、そのきっかけとなった作品「雲井桜 Memories of Japan」を表します。本展では吉田博の冒険に満ちた人生や、気骨の士としての豪快なエピソードを交えて作品を追いかけます。また、後半生をかけて取り組んだ木版画製作は、平均30回以上も重ね摺りされる細密な“多色摺り”や、技術の高さを示す版の“大きさ”、同じ版でも色を変えることにより別の時間帯を表現する“色替え摺り”など、それまでの版画とは一線を画す独創的なものでした。それら木版画作品を中心に吉田博の魅力を紹介します。

後年、吉田博は「私は自然を崇拜する側に立ちたい」という自然の偉大さと美しさを尊ぶ言葉を残しました。本展を通して、彼が残したかった世界各地の絶景と、明治から昭和という時代、そして画家としての生涯についてご覧頂きたいと思います。



「三溪園」1935年 木版、紙

— 略歴 —

吉田博(よしだひろし)
1876(明治9)年 - 1950(昭和25)年。福岡県久留米市出身。18歳の時に上京して不同舎に入門、「絵の鬼」と呼ばれる。以降、風景・山岳を中心とした西洋画家として活躍。明治32年、23歳の時から数度に渡って渡米・渡欧。アメリカを中心に世界各地の美術館で水彩・油彩画の展覧会を開催し成功を収める。国内では太平洋画会を設立し、文展・帝展で活躍。大正後期からは独自の木版画制作に没頭し、写実的かつ詩情的な表現で国内外の版画愛好家を魅了し続けている。

画家がどれ程立派なものを作っても、

自然の偉大さに漸く近づき得るだけで、

自然と一致する近き迄は到底寄り付き得ない

吉田博



「駒ヶ岳山頂より」1928年 木版、紙



「阿武鬼の朝」1930年 木版、紙

会期中のイベント

企画展示「吉田博と吉田興文」

～失われた吉田博作品の再現をもとめて～

吉田博の失われた作品「高山流水」はここ狭山市の風景を描いたものと言われています。吉田興文氏による「高山流水」のイメージ作品の他、狭山市近隣の風景画を中心に展示します。



「稲荷山公園の桜と山並み」水彩、キャンパス/吉田興文

ギャラリートーク

9/29 日 11:30 ~ 12:30
オープニングレクチャー
11/3 日 15:00 ~ 16:00
カルチャーデイ

- ・テーマ1 吉田博の人生
 - ・テーマ2 吉田博の作品解説
- 講師：吉田興文・当館学芸員

11/11 日 入場無料

さやばく音楽会 三曲演奏会
～神立風をまとして～
10:30~11:30
13:30~14:30 計2回公演

まいまいホールにて、箏・尺八・三絃による三曲演奏会を開催します。秋の一日、和の音色につつまれてみませんか。曲目は「春の海」「木もれび」「秋によせる3つの幻想曲」ほか

秋のまいまい体験講座 企画展開催期間中の土・日・祝日

予約不要

工作教室 受付時間▶①10:30~11:45 ②13:30~14:45

砂絵



参加費▶200円

ポップなイラストにカラフルな砂を使って色を付けよう

まゆ玉指人形



参加費▶200円

まゆ玉をデコレーションしてかわいい人形を作ろう

デコ版画カード



参加費▶200円

ゴム版を使って、版画のようなオリジナルポストカードを作ろう

このほか、全5種類ほどの工作を常時開催予定



《アクセス》

- ◆西武鉄道池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩約3分
- ◆西武鉄道新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅行」終点で下車、徒歩約3分
- ◆圏央道狭山日高インターより車で約15分 ※ご来館は公共交通機関をご利用ください。



狭山市立博物館

http://sayama-city-museum.com

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1丁目23番地1

電話:04-2955-3804 FAX:04-2955-3811

※ご来館は公共交通機関をご利用ください。

《指定管理者》 Actio アクティオ株式会社



狭山市立博物館HP